

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- 1 一括質問一括答弁方式
- 2 一問一答方式

質問件名 誰もが尊重される男女共同参画社会の実現のために

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

本年 4 月小林洋子氏が新市長になり、小平市初の女性市長として、新たな市政運営が始まりました。市民からは男女を問わず、小平市における男女共同参画のさらなる推進に大きな期待が寄せられています。

また、小平市アクティブプラン 21 は 2021 年度までの計画期間となっており、2022 年度からの計画の策定に向けて、市民意識調査、事業所実態調査を行うなど準備が進められています。

市民との協働や市職員の連携で誰もが暮らしやすい小平市をつくるために以下質問します。

- 1、小林市長の 87 の政策には女性関連・ジェンダー平等施策推進として女性が力を発揮できる環境を整え、男女共同参画をより一層推進することが掲げられています。意気込みをお聞かせください。
- 2、小平市男女共同参画推進に関する市民意識・事業所実態調査が行われ、2021 年 1 月に報告書が発行されました。今回の調査結果の特徴について、前回調査の結果との違いも含めてお示ください。
- 3、(仮称)第四次小平市男女共同参画推進計画、小平市アクティブプラン 21 策定のスケジュールをお示ください。また市として新たに計画にもりこみたいことがありますか。お示ください。
- 4、男女共同参画を推進するには市内の連携が欠かせません。どのような連携をとっていますか。また職員向けに定期的にジェンダー、セクシャルハラスメントやパワーハラスメント、DV の講習会が必要です。どのような取り組みを行っていますか。
- 5、男女共同参画推進には市民との協働が欠かせません。市と市民のお互いの特性を生かして男女共同参画を推進するためには信頼関係が必要です。信頼関係をどのように築いていきますか。
- 6、性的マイノリティーの方がより暮らしやすい小平市であるためにはパートナーシップ制度の導入が必要と考えますが、ご見解をお示ください。
- 7、男女共同参画推進には子どもの頃からの学びが必要と言われています。小平市ではどのような取り組みを行っていますか。

上記のとおり、小平市議会会議規則第 57 条第 2 項により通告します。

令和 3 年 5 月 31 日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

26	25	24	23

-(/)